

エコライブオフィス品川(コクヨ東京ショールーム)

ECO LIVEOFFICE SHINAGAWA

No. 13-008-2010更新
改修・保存
事務所

発注者	コクヨ株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	コクヨ・エコバツネクストプロジェクト 株式会社 竹中工務店	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社 竹中工務店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

エコとクリエイティブを両立させた次世代オフィス



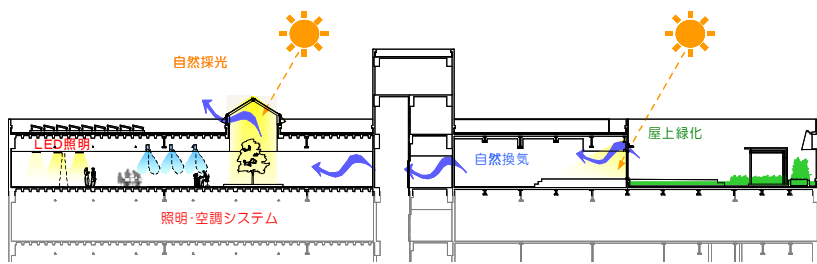
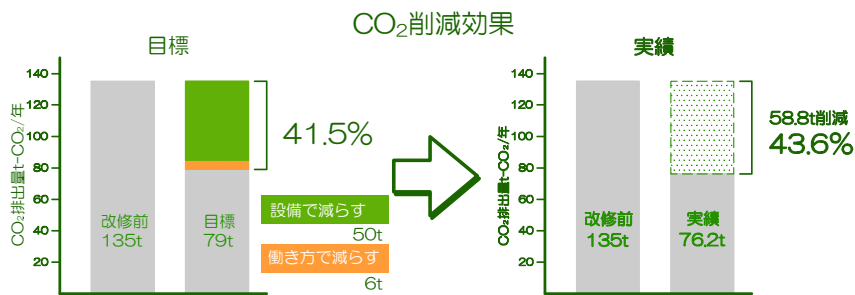
削減するエコから、創造するエコへ。

コクヨ東京ショールーム5階に照明と空調の省エネを大胆に進めながら、社員の生産性・創造性の向上を両立させた新しい発想の次世代エコライブオフィスが品川に実現した。

エコライブオフィスのコンセプトは省エネなどの環境対策が、企業の発展、業務の高効率化とは逆のベクトルになると考えられがちだが、その二つを同時に両立することが可能なオフィス。5階屋上テラスに設けられたガーデンオフィスでは、リフレッシュという目的ではなく、自然と共生し、ガーデンで働くエコ・ワークスタイルを導入した。また、そのガーデンと一体となるよう開放できるサッシュを設けたスタジオや、オフィス中央のトップライト下の公園等、自然を感じながら執務を行う場を提供している。



ガーデンオフィス



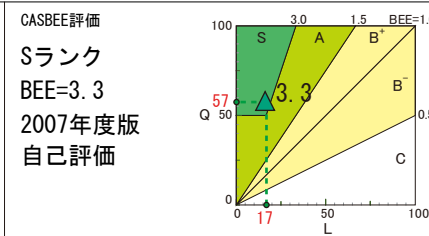
断面図



ワークスペース

建物データ	所在地	東京都港区
	竣工年	2008年
	敷地面積	1,128㎡
	延床面積	1,947㎡ (改修階)
	構造	SRC造、S造
	階数	地下1階、地上5階 (5階を改修)

省エネルギー性能	PAL削減	15%
	ERR (CASBEE準拠)	14%
	LCCO ₂ 削減	30%



エコ (省エネ)

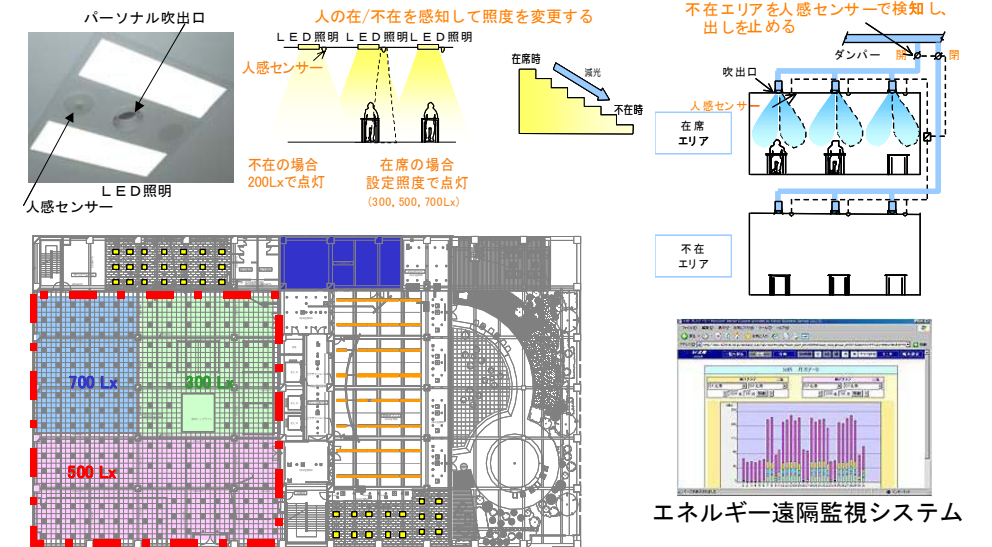
オフィスの均一照度を見直し、執務状況に応じた照度設定 (700、500、300Lx) を行った。ベース照明はすべて国内ではまだ採用事例が少ないLEDを先導的に採用し、人感センサーにより人の在/不在を感知し、不在時は減光させるシステムを採用した。また、トップライト、窓からの自然採光も積極的に取り入れ、昼光センサーで制御している。

空調は南側窓とトップライトによる自然の空気の流れを利用した換気を行い空調負荷を低減されると共に、人感センサーより、不在時はモーターダンパーを閉め吹出風量を絞り、搬送動力の削減を行っている。その他ガーデンオフィスで屋上緑化を行い、下階の空調負荷を低減させている。エネルギーの見える化システムも導入している。



自然換気・自然採光

屋上緑化



クリエイティブ (創造性)

●GARDEN (ガーデン)

自然と共生するワークスタイル。

四季を身近に感じながら働くスタイルで社員が積極的に環境負荷を軽減します。



●PROJECT SPACE/WORK LAB (プロジェクトスペース/ワークラボ)

アイデアを蹴り上げ、形にする場

光環境 (照度・色温度) を自由に変え、さまざまなワークシーンをサポートし、創造性の向上を図ります。



設計担当者

コクヨ 堀田巖、野島耕平、太田裕也、岡本悠 意匠協力: セセン設計所 竹中工務店 建築: 堀内隆、平澤宏之/設備: 古屋誠二郎、宮坂拓之

●STUDIO (スタジオ)

セミナー開催などで多彩な交流を。

屋外とつながるスタジオ。セミナーや研修会で社内外の人が集い、交流する場でもあります。



●WORK SPACE/LIBRARY (ワークスペース/ライブラリー)

(ワークスペース/ライブラリー)

人・モノ・情報・季節を感じとる。人との出会いや日々変化する情報との出会いなど、常に「感じとる」ことのできるオフィス空間です。



主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3 .1. 生物環境の保全と創出 (屋上ガーデン)
- LR1.2. 自然エネルギー利用 (自然換気、自然採光)
- LR1.3. 設備システムの高効率化 (LED照明、タスク・アンビエント照明、パーソナル空調、人感センサー)
- LR1.4. 効率的運用 (エネルギー遠隔監視システム、エコ活動推進システム)
- LR3.1. 地球温暖化への配慮 (LCCO₂削減)
- Z . . . その他 (知的生産性を高める-エコでクリエイティブ)